

第1学年	国語	使用教科書等	新しい国語1 (東京書籍)・単元別漢字練習・文法テキスト・資料集	担当教員	高田 盛司
------	----	--------	----------------------------------	------	-------

【通知表のつけ方】

<p>【学習の目標】</p> <p>(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにします。</p> <p>(2) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができますようにします。</p> <p>(3) 言葉が持つ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養います。</p>	<p>【授業の進め方や授業のポイントは何か】</p> <p>○言語文化に親しみましょう。単元別漢字練習テキストを用いて、毎時の初めに練習することによって、漢字や語句を正しく用いることができますようにします。</p> <p>○仲間と学び合い、課題を達成しましょう。ワークシートの課題に対して、自ら考え、他者と交わって課題を解決できる力を身に付けるようにします。</p> <p>○授業第一で取り組みましょう。十分な睡眠をとって登校し、毎時の学習に必要な物を管理して、活用することが「授業第一」という意味です。授業第一で確かな学力を身に付けるようにします。</p>	<p>【どのように家庭学習を進めればよいか】</p> <p>○じっくり読む習慣をつくる。 読んで解く力は、受け身では身に付きません。目・耳・口を使って読むことでよい習慣ができ、やがて読むことが苦にならなくなります。</p> <p>○漢字に親しむ。 単元別漢字学習を使って、漢字の読み書きや正しい筆順で書く力を付けましょう。本気で取り組んだ人には、自信とともに実力が身に付くようになります。</p> <p>○文章に慣れる、親しむ。 読書の習慣を、家庭での生活に取り込んでみましょう。図書室の貸し出しを利用して、さまざまな分野の本と出会ってみましょう。</p>	<p>評価の観点</p> <p>何で頑張りを見るか</p>	
			<p>知識・技能</p>	<p>定期テスト・確認テストの達成率 読むこと・話すこと・聞くこと・書くことに関する知識・技能(テスト・提出物) 文法に関する知識・技能(テスト) 漢字小テストの達成率</p>
			<p>思考・判断・表現</p>	<p>定期テスト・確認テストの達成率 読むこと・話すこと・聞くこと・書くことに関する思考・判断・表現(テスト・提出物) 文法に関する思考・判断・表現(テスト)</p>
			<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<p>授業とテストに取り組む様子 スピーチ等発表会の発表内容 提出物の内容</p>

【1年間の授業計画】

学期	学習する内容	ここで付きたい力	使うもの	学期	学習する内容	ここで付きたい力	使うもの
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> 詩 小説 言語に関する知識 漢字 聞き取り スピーチ 作文 	<ul style="list-style-type: none"> 詩を読んで、解釈する。読み方を工夫して音読する。 小説を読んで、心情の変化を捉える。 学んだことをもとに、自分の知識や体験も交えて考えを発表する。 言葉の単位と文の成分について理解する。 	教科書 ワークシート 資料集	3 学期	<ul style="list-style-type: none"> 小説 言語に関する知識 漢字 聞き取り 	<ul style="list-style-type: none"> 小説を読んで、場面の展開を捉えて、作品を読み味わう。 副詞・連体詞・接続詞・感動詞について理解する。 	教科書 ワークシート 資料集
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> 古典 説明文 言語に関する知識 漢字 聞き取り スピーチ 作文 	<ul style="list-style-type: none"> 作品に描かれた情景や心情を捉える。 説明的文章を読んで、事実と考えを区別する。 古典に触れ、内容の理解とともに、仮名遣いや主語の省略など古文特有の文章を読めるようにする。 名詞の働きと種類について理解する。 	教科書 ワークシート 資料集				